

中央大學豫科學則

學 則

第四章 豫科

第一節 學科課程

第四十七條 豫科ノ學科課程左ノ如シ

科 目	第一學期			第二學期			第三學期		
	時數	授業	週	時數	授業	週	時數	授業	週
修身	一			一			一		
國語、漢文	六			五			五		
外國語(英語)	一八			一五			一五		
數 學	八			四			四		
歷史、地理				三			三		
物理、化學				二			二		
博物				一			一		
法學通論(法律學科)				二			二		
論 理				二			二		
合 計	三三			三五			三五		

◎學科及ヒ每週授業時數ハ都合ニ依リ變更スルコトアルヘシ但一週授業時數ハ各科ヲ通シテ二十八時間ヲ下ルヲ得ス
 ◎地理、物理、化學、博物ノ四科ハ場合ニ依リ其中ノ一科若クハ數科ヲ缺キ又ハ之ヲ隨意科目ト爲スコトアルヘシ

第二節 學期

第四十八條 豫科ノ修業期ヲ分テ三學期トス

第一學期 自四月一日至九月十日

第二學期 自九月十一日至翌年二月二十八日

第三學期 自三月一日至九月十日

第三節 入學、退學

第四十九條 入學期ハ每學期ノ始トス但補缺トシテ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第五十條 入學志願者ハ年齢十七年以上ノ男子ニシテ左ノ資格ヲ有スル者ニ限ル

- 一 中學校卒業者
- 二 師範學校卒業者
- 三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證書ヲ有スル者
- 四 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者
- 五 特ニ經濟科及ヒ商科ニ限リ甲種商業學校ヲ卒業シタル者

第五十一條 第十二條、第十三條、第十五條乃至第二十四條ハ豫科學生ニモ之ヲ適用ス

(參照)

第十二條 本大學ト同等學校ノ第二學年以上ニ在學シ且ツ第五十條ノ資格ヲ有スル者轉學ヲ願出ツルトキハ相當ノ學級ニ編入ス但本大學ノ學科課程中他校ニ於テ修習セザリシモノアルトキハ其科目ニ限リ試驗ヲ行フヘシ
 第十三條 入學志願者ハ入學申込書ニ履歷書ヲ添ヘテ本大學教務係ニ差出スヘシ但入學試驗ヲ受ケントスル者ハ申込ト同時ニ受験料金一圓ヲ納ムヘシ

第十五條 入學ノ許可ヲ得タルトキハ直ニ保證人ト連署シテ在學證ヲ差出スヘシ但在學證用紙ハ必ス教務係ヨリ申受クヘシ

第十六條 保證人ハ東京市内ニ一家計ヲ立ツル成年者タルコトヲ要ス

保證人ハ本人在學中ニ係ル一切ノ事件ニ付キ其責ニ任スヘキモノトス

第十七條 保證人死亡シ又ハ前條ノ要件ヲ缺キタルトキハ遲滞ナク之ヲ改定シ更ニ在學證ヲ差出スヘシ保證人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十八條 學生疾病其他止ムヲ得サル事故ニ因リ滿五ヶ月以上修學シ能ハサルトキハ其實事ヲ證スル書面ヲ添附シ保證人連署ノ上學長ニ願出テ其許可ヲ經テ當該學年間休學スルコトヲ得

第十九條 休學ヲ許可シタル學生ハ次學年ノ始ヨリ其原級ニ入テ修學スルモノトス但休學年間ト雖モ事故止ミタルトキハ其旨ヲ届出テ出席スルコトヲ得

第二十條 學生休學中ハ授業料ヲ免除ス

給費又ハ貸費ヲ受ケル者ハ休學ノ月ヨリ之ヲ停止ス

第二十一條 學生ニシテ陸軍現役ニ服スル者及ヒ召集中ノ者ハ其間第十八條ノ規定ニ準シテ休學シ滿期後直ニ原級ニ復スルコトヲ得

第二十二條 疾病其他ノ事故ニ因リ退學セントスル者ハ保證人連署ノ上願出テ學長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 左ニ掲クル者ハ學籍ヨリ除名スヘシ

- 一 學業劣等若クハ疾病ニ因リ成業ノ見込ナキ者
- 二 出席當ナラサル者
- 三 何等ノ事由ヲ以テスルニ拘ハラズ引續キ一介年間關席シ又ハ正當ノ事由ナク一介月以上關席シタル者

第二十四條 第十一章ノ規定ニ依リ退學ニ處セラレタル者四ヶ月以上ヲ經過シ改善ノ實アリト認メタルトキハ特ニ再入學ヲ許スコトアルヘシ

第四節 試驗
 第五十二條 第二章第三節ハ之ヲ豫科ニ準用ス

(參照)

第二十五條 每學年ノ終ニ於テ學年試驗ヲ舉行ス但試驗期日ハ試驗開始ノ二十日前マテ之ヲ揭示ス

第二十六條 試驗ノ方法ハ筆記及ヒ口述トス

第二十七條 一科目ノ滿點ヲ一百點トシ各科目四十點以上平均六十點以上ヲ得タルモノヲ以テ及第トス

第二十八條 疾病其他止ムヲ得サル事故アリテ學年試驗ヲ完了セサル者ノ爲メ次學年ノ始ニ於テ追試驗ヲ舉行ス但手數料トシテ金二圓ヲ納メシム

第二十九條 追試驗ヲ受ケル者ハ前ノ試驗ニ六十點以上ヲ得タル科目ノ試驗ヲ受ケサルコトヲ得

第三十條 試驗成績ハ學業ノ優劣ニ從テ列叙セル席次表ニ各科平均得點數ヲ附記シテ之ヲ揭示ス

第五節 學費

第五十三條 豫科ニ入學スル者ハ入學料トシテ金二圓ヲ納ムヘシ

第五十四條 授業料ハ第一期金九圓 第二期金十八圓 第三期金十二圓トシ之ヲ左ノ三期ニ徴收ス但當分ノ内月割金三圓ツ、分納スルモ妨ナシ

第一期 四月(金九圓) 第二期 九月(金十八圓) 第三期 三月(金十二圓)

第五十五條 第三十三條乃至第三十七條ハ豫科學生ニモ之ヲ準用ス

(參照)

第三十三條 學年ノ中途ニ入學シ若クハ退學スル者ハ特ニ入學以前及ヒ退學以後ノ授業料分納額ヲ免除ス

第三十四條 學生在學中ハ全月闕席シタルトキト雖モ授業料分納額ヲ免除セズ

第三十五條 授業料ヲ月割分納スル者ハ翌月分ヲ前月末日マテニ會計係ニ納付シ之ト引替ニ聽講券ヲ受取ルヘシ

第三十六條 既ニ納付シタル授業料ハ中途退學スルモ之ヲ返付セズ

第三十七條 授業料ニ滞納アル者ハ完納ノ上ニアラサレハ學年試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第八章 給費生及ヒ特待生

第七十七條 學生中學術優等、品行方正ナル者ヲ選ヒ銓衡ニ依リ給費生又ハ特待生トス

第七十八條 給費生ハ當該學年間年額二百圓以内ノ學費ヲ給與シ特待生ハ當該學年間授業料ヲ免除ス

第七十九條 給費生又ハ特待生ニシテ成業ノ目途ナキ者ハ直ニ其待遇ヲ解ク

第十章 學生心得

第九十條 教場ニ出席スルトキハ必ス制服制帽洋服若クハ袴ヲ着ケ靴又ハ上草履ヲ用ウヘシ

第九十一條 教場ニ出席スルトキハ必ス聽講券ヲ携帯スヘシ若シ之ヲ携帯セサルトキハ退場ヲ命ス

第九十二條 聽講券ヲ遺失シタルトキハ其旨ヲ會計係ニ届出テ再ヒ之ヲ申受クヘシ但其再渡ヲ請フ者ハ手数料トシテ金二十錢ヲ納ムヘシ

第九十三條 教場ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ雜談、喫煙其他粗暴ノ舉動アルヘカラス

第九十四條 授業中ハ退席ヲ許サズ若シ止ムヲ得サル事故アリテ退席セントスルトキハ講師ノ許可ヲ受クヘシ

第九十五條 學生又ハ保證人氏名ヲ改稱シ若クハ本籍住居等ヲ移轉シタルトキハ遲滞ナク之ヲ届出ツヘシ

第九十六條 三日以上闕席セントスルトキハ必ス其事由ヲ具シ保證人ト連署シテ届出ツヘシ但疾病ノ爲メ七日以上闕席スルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第九十七條 闕席届出ノ日數ハ一个月ヲ超ユルヲ得ス若シ一ヶ月ヲ經過シ其事由尙ホ止マサルトキハ其都度必ス新ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第十一章 懲罰

第九十八條 學生學則又ハ校規ニ背反シ其他不都合ノ行爲アルトキハ情狀ニ依リ停學若クハ退學ヲ命シ尙ホ器具等ヲ損壞シタル者ニハ相當ノ賠償ヲ爲サシム

第九十九條 學業怠惰ニシテ成業ノ見込ナキ者又ハ品行不良改悛ノ目途ナキ者ハ退學ヲ命ス

第一百條 前二條ノ規定ニ依リ停學若クハ退學ヲ命シタルトキハ其旨ヲ父兄及ヒ保證人ニ通知シ其退學處分ハ同種學校ニモ之ヲ通知スヘシ

大正四年八月 立私中央大學

學長 法學博士 奧田義人
 理事 法學士 伊藤悌治
 理事 法學博士 岡野敬次郎
 幹事 佐藤正之

本校高等學校高等商業學校專門學校の爲め準備教育を施すを目
 の資格ある者を無試験にて入學せしむ。本校授業科目は英語(又は獨逸語)數學物理化學博物歴史地理
 國語漢文等にて講師は學識経験に富める博士學士等二十餘名にして來る九月十一日より新學期の授業を開始す入學志望
 者ハ詳細は學則にあり

中央高等豫備校

生徒募集

東京市神田區錦町中央大學内

立私**中央高等豫備校**

校長 法學博士 奧田義人

大正四年八月

19870542